

腐敗防止

概要報告の目的：

- EB-148 に、腐敗防止に関する最近の活動を報告する。
- EB-148 に、告発者の保護に関する 2016 年の行動案を報告する。

関連：

- ✓ EB-147 に対する腐敗防止の概要報告

背景：過去 10 年間に世界の加盟組合が行った取り組みを土台に、2012 年 11 月に行われた前回の世界大会以降、腐敗との戦いが PSI の優先課題となってきた。PSI はいかなる形態の腐敗にも断固反対する。タックスヘイブン、タックスホリデー、政府が非公開取引という形で多国籍企業に提供するインセンティブがあるため、多額の税金が国家財政に入らない現状がある。PSI はこれが、最も巧妙な最悪の腐敗であると考え。緊縮財政と公的支出の削減に代わる最高の代替策は、腐敗と真剣に戦うことである。PSI の腐敗防止キャンペーンも、世界的に税の正義を求める戦いと密接に関連している。また、身の危険や現在、将来の収入、雇用のリスクを恐れずに公益のために立ち上がる告発者を守ることもつながっている。PSI は公的統制機関の労働者を保護する国際労働基準の策定を呼びかけ、この問題について ILO とも取り組んできた。

議論：国際労働総会期間中の 2015 年 6 月 8 日、PSI は腐敗との戦いについて ULATOC、UITOC と共同でサイドイベントを開催した。6 月 28 日、PSI、ULATOC、CSA¹ が共同で署名した意見書が ILO 事務局長に送られた。意見書では、告発者の保護の問題を今後の国際労働総会の議題に盛り込むことが要請された。基準設置について議論し、このトピックに関するガイドライン策定とリサーチを行うことが目的であった。PSI は、加盟組合の ACFO が 2015 年 6 月にオタワで開催した「民主主義の資金確保」会議で、腐敗根絶キャンペーンの全側面に関する議論に貢献した。2015 年 9 月 16 日、PSI と UNI グローバルユニオンは、ILO にて、告発者の保護と腐敗との戦いに関する協力関係を構築するための戦略会議を開催した。UNI グローバルユニオンと、アフリカ、欧州、アジア太平洋、米州地域の加盟組合メンバーと PSI 職員に加え、ACTRAV、ITUC、インダストリアル、ILO 職員組合がこれに参加した。参加者は各自の体験を共有し、官民両部門で告発者を保護する国際労働基準が必要であるとの結論に至った。何らかの法律を敷いている国も多いが、官民両部門で取り組むものは少なく、また、必ずしも労働保護の問題に関連があったわけではない。国際基準は調和的な効果をもたらす可能性がある。政策的な一貫性を推進し、この文脈での団体交渉の重要性を強調することにつながる。告発者の労働保護は、告発者の職業上の立場と現在、将来の収入を守るために必要である。2015 年 11 月、ILO 理事会は、告発者の保護を、今後の国際労働総会で議論できる可能性のある項目として加えた。

予算面：2016 年度予算のとおり。

次のステップ：PSI は腐敗防止キャンペーンを PSI の全部門と地域に拡大する意欲である。これにより、2016 年 12 月 9 日の国際腐敗防止デーに向けての資料づくりとイベント企画を促す。告発者の保護に向けた協力体制を敷き、共同キャンペーン行動を策定するために、PSI と UNI グローバルユニオンは作業部会を設置し、ILO その他の労働組合組織、使用者、市民社会パートナーを参加させる。腐敗との戦いは、2015 年 9 月末にニューヨークで採択される 2030 開発アジェンダおよび持続可能な開発目標にも確実に組み込まれている。この活動

¹ Confederación Sindical de Trabajadores/as de las Américas

は、PSI、ILO、その他プラットフォームで取り組む SDG 指標の策定、公的調達、職場の暴力、グローバルサプライチェーンにも関連付ける。PSI は 2016 年 3 月、加盟組合の ULATOC、ACFO との協力のもと、公共の健全性（Public Integrity）に関する勧告案について、OECD との協議に参加した。同年 4 月 18～22 日の OECD 健全性ウィーク（Integrity Week）にも参加する。さらに、ロンドンにて税の正義ネットワークが主催する腐敗とタックスヘイブンの役割に関する会議（2016 年 4 月 28～29 日）にも参加を計画している。この他にも、今後確定が予定されているイベントがある。

EB-148 に対し以下を勧告する。

1. 本概要報告に留意し、これを支持する。

はい/いいえ